

町田市が持っている資産は古くなっていないのかな？



町田市はこれからどのように事業に取り組んでいけばいいのかな？



町田市の事業にはどのような課題があったのかな？



町田市が行っている事業にはいったいいくらかかっているのかな？



町田市 事業別財務諸表 の見方

全ての財務諸表は町田市ホームページで！

町田市 事業別財務諸表

検索



「事業別財務諸表」では、財務の情報だけでなく、組織の使命や事業目的、事業の成果といった非財務の情報を交えた分析を行うことで、保有する資産や投入したコストによって「事業の成果があがっているか」といった有効性の検証や、市民の皆様から納めていただいた「税金が効率的に使われているか」といった効率性の検証を行うことができます。

このパンフレットでは国際版画美術館の財務諸表を題材として、事業別財務諸表の見方を紹介します。全ての財務諸表は町田市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



■事業別財務諸表とは
従来の地方自治体の決算では、「土地・建物などの価値がわからない」「建物などの経年劣化のコストを把握できない」「現金を支出しないコストを把握できない」といった問題点がありました。

この問題点を解決するために、町田市は2012年4月から市区町村としては全国で初めて日常の会計処理の中で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。これによって町田市が保有している資産・負債の状況や町田市の仕事のフルコスト情報を迅速に把握できるようになりました。

さらに町田市では、町田市全体の財務諸表だけではわからない個別具体的な組織・事業の資産・負債の状況や、フルコスト情報を把握するために「事業別財務諸表」を作成しています。

平成26年8月
町田市

町田市財務部財政課
東京都町田市森野2-2-22
電話 042-724-2149
刊行物番号14-30

町田市の事業別財務諸表は

- ① 課題解決サイクルを意識できる様式です。
- ② 行政コスト計算書・貸借対照表は経年比較ができる様式です。

組織の使命

この課が、誰のためにどのように役立つのかを簡潔に記載しています。

2013年度 文化スポーツ振興部 国際版画美術館の財務諸表

I. 組織概要

優れた美術作品に触れる機会、および学習、創作、発表を通えます。また、貴重な文化財である版画作品を収集・保管し、良質な情報発信を行います。これにより、町田市の文化振興に貢献します。

- ◆美術作品等の収集、保管及び展示会、講演会等の事業の企画
- ◆版画に関する専門的、技術的な調査研究及び情報の提供、図録等の作成及び販売、美術作品の寄贈及び寄託に関する事業
- ◆市民の美術学習及び団体活動の援助、施設及び設備の買

II. 2012年度末の財務分析を踏まえた事業の課題

◆一般的に、美術館等の歳出に対しての歳入の割合(受益者負担割合)は、13%を超えれば優良とされている中で、受益者負担率11.6%は比較的良好な数字です。今後は、少ない歳出で高い効果を出していくが課題となります。

◆美術館は、開館27年目と突入し、重要作品である収蔵作品は2万4千点を数え、近々の大規模な修繕は必須となります。このため、2013年度は施設修繕の基本設計を実施し、今後の維持管理コスト負担を考慮し、施設の適正な管理運営等について検討する必要があります。

項目	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
施設費	29,885	40,569	19,862	15,476
受益者負担率	-	11.6%	11.6%	11.6%
資産老朽化比率	50.0%	52.0%	54.0%	54.0%

III. 事業の成果

成果指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	成果指標の定義
国際版画美術館展覧会観覧者数	人	91,659	112,442	97,829	92,000	企画展および常設展示室ミニ企画展の観覧者数の合計
観覧料、施設使用料収入	千円	12,862	20,308	15,822	-	企画展観覧料収入の合計

◆2013年度は通常の予算規模で年8回の企画展、年4回の常設展示室ミニ企画展を実施。前年度(2012年度)に比べて、観覧者数・観覧料とも減少しましたが、通常年度(2011年度)との比較では、少ない歳出で高い効果を出しているが課題となります。

◆企画展開催ごとに講演会、パネルトーク等を実施し、作品の鑑賞とともに美術館での充実した体験を提供しています。

◆普及事業では版画教室等各種講座、版画研修会等の実施による学校教育活動への協力、小中学生向け活動を行いました。

IV. 財務情報

① 行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	2012年度 A	2013年度 B	差額 B-A
人件費	113,705	112,295	△ 1,410
うち時間外勤務手当	2,860	2,690	△ 170
物件費	158,805	135,901	△ 22,904
うち委託料	111,931	93,322	△ 18,609
維持補修費	21,735	1,873	△ 19,862
扶助費	0	0	0
補助費等	7,243	5,357	△ 1,886
減価償却費	38,547	38,547	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
貸倒引当金繰入額	8,865	6,178	△ 2,687
行政費用小計 (b)	348,700	300,151	△ 48,549
特別費用 (g)	0	0	0
特別収入小計 (f)	0	0	0
特別収支差額 (h)=(g)-(f)	0	0	0
当期収支差額 (e)=(b)-(f)	△ 297,401	△ 267,820	29,781

◆2013年度は通常の予算規模で年8回の企画展、年4回の常設展示室ミニ企画展を実施。前年度(2012年度)に比べて、観覧者数・観覧料とも減少しましたが、通常年度(2011年度)との比較では、少ない歳出で高い効果を出しているが課題となります。

◆企画展開催ごとに講演会、パネルトーク等を実施し、作品の鑑賞とともに美術館での充実した体験を提供しています。

◆普及事業では版画教室等各種講座、版画研修会等の実施による学校教育活動への協力、小中学生向け活動を行いました。

② 行政コスト計算書の特長的事項

勘定科目	2012年度 A	2013年度 B	差額 B-A
町田市立国際版画美術館総合管理	61,697千円	61,697千円	0
「空想の建築」展ポスター・図録等製作	3,749千円	3,749千円	0
「縁起もの」展図録等作成	3,318千円	3,318千円	0
2012年度は開館25周年記念事業のための大型企画を実施。2013年度は通常規模で事業実施したため物件費全体が22,704千円減少。			
2012年度は開館25周年記念事業のための町田市総合交付金まちづくり振興助成金特選事業料が交付されていたことにより、交付金分の10,730千円減少。			

③ 単位あたりコスト分析

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	対前年度	単位あたりコストの増減理由
国際版画美術館年間入館者数1人あたりのコスト	人	2013	159,989	1,876	△ 12	入館者数は減少しましたが、事業予算も減少しているため2012年度より12円の減少となり、ほとんど変わっていません。
		2012	184,707	1,888		
開館1日あたりのコスト	日	2013	305	984,102	△ 155,440	事業費の減少に伴い、2012年度より1日あたりのコストが155,440円減少しました。
		2012	306	1,139,542		
延べ床面積1㎡あたりのコスト	㎡	2013	7,840	38,285	△ 6,191	事業費の減少に伴い、2012年度より1㎡あたりのコストが6,191円減少しました。
		2012	7,840	44,476		

行政コスト計算書の特長的事項

行政コスト計算書に計上されている特長的な勘定科目について、決算額の主な内訳と主な増減理由を記載しています。

単位あたりコスト分析

事業の効率性を分析するためや、事業のボリュームを把握するため、単位あたりのコストを算出しています。

老朽化が進んでいて、施設の修繕が必要になってきていたんだね。

25周年記念事業が終わり、事業費は減少してきたんだね。

④ 貸借対照表

勘定科目	2012年度末 A	2013年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2012年度末 A	2013年度末 B	差額 B-A
未収金	0	0	0	流動負債	4,820	4,820	0
不納欠損引当金	0	0	0	運付未済金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	地方債	0	0	0
有形固定資産	1,188,134	1,149,587	△ 38,547	賞与引当金	4,820	4,820	0
土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
建物	1,927,337	1,927,337	0	固定負債	117,193	117,193	0
建物減価償却累計額	△ 1,002,215	△ 1,040,762	△ 38,547	建設仮勘定	0	0	0
工作物	263,012	263,012	0	無形固定資産	0	0	0
工作物減価償却累計額	0	0	0	有形固定資産	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	土地	0	0	0
固定資産	0	0	0	工作物	107,188	107,188	0
純資産	2,584,526	2,545,979	△ 38,547	無形固定資産	2,438,791	2,438,791	0
建設仮勘定	0	0	0	その他の固定資産	0	0	0
その他の固定資産	1,396,392	1,396,392	0	純資産	2,462,505	2,438,791	△ 23,714
資産の部合計	2,584,526	2,545,979	△ 38,547	負債及び純資産の部合計	2,584,526	2,545,979	△ 38,547

美術館の建物は1年間で4,000万円も価値が減っているのね。収蔵美術品の方が建物よりも資産価値があるのね。

貸借対照表の特長的事項

貸借対照表に計上されている特長的な勘定科目について、決算額の主な内訳と主な増減理由を記載しています。

⑤ 貸借対照表の特長的事項

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
美術館 1,927,337千円		建物(事業用資産)		収蔵美術品	1,296,392千円
my sky hole88 30,000千円		屋外彫刻4点		定期運用基金	100,000千円
トココソ 30,700千円		開かれた宇宙 27,700千円			
開かれた宇宙 27,700千円		噴水 シーズー 174,612千円			
噴水 シーズー 174,612千円					
所管する建物の減価償却費 △38,547千円					

⑥ キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	32,531	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	276,438	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 243,907	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	0
収支差額合計(a)+(b)+(c)	△ 243,907	一般財源充当調整額	243,907		

キャッシュ・フロー計算書

現金収支の状況を把握するため、歳出目(課)の財務諸表ではキャッシュ・フロー計算書を記載しています。

V. 財務構造分析



こんな課題があるのね。ここで見つけた課題を解決できるように、事業を進めていってほしいな。

VII. 総括

① 成果および財務の分析

◆2013年度は通常規模の展覧会を実施。前年度の開館25周年大型企画(都交付金を確保し、海外からの作品借用・著名美術家の企画等)に比べて入館者数、観覧料収入が減少しましたが、事業予算も縮小したため受益者負担率は10.9%となり、前年の11.6%とほぼ同じ水準を維持しました。

◆物件費(主に展覧会事業および施設管理費用)が全体の45%を占める割合は変化ありませんが、人件費の占める割合が5%増加し、2012年度より1.8%増加しています。2012年度のエレベーター修繕17,999千円による増減は、2014～2015年度予定の空調設備等大規模修繕以外にも大規模な修繕が多発する傾向にあります。

② 2013年度末の成果および財務の分析を踏まえた事業の課題

◆2012年度の開館25周年大型企画を例外とすれば、例年の事業全体では安定した入館者数、施設使用料、図録等の販売による収入の確保が、収蔵品の充実の確保の満足度の高い企画を実施するため、一層のコスト削減と都交付金や各種助成金の積極的な確保を行う必要がある。

◆来館者以外にサービスを提供できるよう図録等の販売拡大、収蔵作品情報提供システムの検討・充実することによる利用者満足度の向上を図る。

◆2015年3月か予定の大規模修繕において可能な範囲で関連する施設整備を行い、今後の維持補修費削減に努める必要がある。

成果および財務の分析

当年度の取組みを振り返り、成果と財務情報を交えて総括をしています。

「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

「成果および財務の分析」を受けて、組織の使命を実現するための課題を記載しています。